

Pickup!① 「汗と努力の結晶」大会新記録で初優勝!!

2月4日、長崎市で行われた県中学駅伝新人合同記録会で、西部中学校（山口直登校長）が大会新記録で見事初優勝を飾りました。

キャプテンの栗屋直斗君（2年）は、「県新人駅伝に向け、朝練、午後練と毎日練習に励んできました。みんなの目標は優勝の二文字。大会当日は緊張でいっぱいでしたが、一人ひとりが自分の走りをする事ができ、目標を達成することができました。応援してくださった周りの方々や指導してくださった小代先生に感謝の気持ちでいっぱいです」と大会を振り返ってくれました。



後列左から...小代創監督、中原紘統君、栗屋直斗君、永留輝人君
前列左から...平山裕章君、扇晃平君、岩佐湧斗君

初志貫徹！見事、目標を達成!!

Pickup!②

2月17日～19日、第61回郡市対抗県下一周駅伝大会（42区間 407.4km）が開催されました。

対馬出身の社会人や大学生・高校生、陸自対馬の精鋭など小学生から壮年まで「つしまチカラ」を結集し、史上最強布陣を敷いた「チーム対馬」。全国クラスで活躍する選手が多数出場し、例年になくハイレベルなレースだったにもかかわらず、前年の総合7位から過去最高の総合5位に躍進。タイムは過去最速の21時間58分01秒を記録しました。

「目標の22時間以内、そして総合5位が達成でき、各選手の頑張りに感動しました。今大会は各スタートで好位置に付けたことが、他の選手の粘り強い走りに繋がったと思います。来年はまた一つ高い目標（4位）を目指して頑張りたいと思います」（田中光幸 総監督）

小学生男女総合：準優勝

区間賞：國分恵介選手（國學院大・東部中出身） 2日目：第10区
松永健太選手（鎮西学院高・久田中出身） 2日目：第8区 3日目：第5区



写真提供：長崎新聞社

要所で「エース」の活躍を見せた宮原卓選手（三菱重工長崎・豊中出身）



写真提供：長崎新聞社

2つの区間でチームを盛り上げた松永健太選手（鎮西学院高・久田中出身）



写真提供：長崎新聞社

小学生男女総合：準優勝の立役者永留瑞樹選手（西小）